

パラ・パワー・ニュース

報告：特定非営利活動法人日本パラ・

パワーリフティング連盟、事務局

問合先 : ファックス 03-6229-5420

電話 : 03-6229-5423 吉田、久保

メール : jppf.jimu@gmail.com

ホームページ : <http://www.phouse.jp/>

□ 2016年パラ・パワーリフティング

ジャパンカップ開催

本年度より、2018年のIPCアジアパワーリフティング選手権大会開催をにらみ、北九州市の共催を受けて、北九州市に於けるパワーリフティング普及活動、北九州市ホストタウン事業、連盟内コーチの育成、アジア選手権のIPC会場視察、など、盛り沢山の事業とともに、6月26日、北九州市小倉北体育館にて、ジャパンカップ（昨年まで西日本選手権と呼んでいた大会）が開催された。

6/23-25 IPCコーチコース初級の開催

現実的な話、パラリンピックは、メダルを取って、何ぼ。そんな風潮や期待に中々辛い思いをしている事務局。

障がい者の生き甲斐、社会復帰、健康管理——東京パラリンピックが近付いている昨今、もはやスポーツ連盟としての理想を語っている場合ではない。連盟の予算も、選手への企業側の接触も、メディアも、「メダル」を視野に、決め事が進んでいく。パラ・パワーリフティング連盟のように、まだ、メダルを取っていない現状では、スポンサーは、こちらを向いてくれず、「そんな連盟を応援して何に成るの?」「儲かるの?」そんな、あからさまな企業の人々の声が聞こえてくる。なかなか、「障がい者スポーツを応援しよう!」という、損得抜き「応援団」は、いないものだ、と、分かっているにしても、そういう渦の中にいる現実を思い知らされる。





Introduction to Para-Powerlifting Coaching Programme



[/IPCPowerlifting](#)
[@IPCPowerlifting](#)
www.IPC-Powerlifting.org

フィールチェアラグビー、フィールチェアバスケット、パラ・水泳、パラ・陸上。そういった、花形の連盟には、企業が群がり、大会を見に行っても、本当に素晴らしい大会を開催しておられ、学ぶところ、大。

なんとか、メダルを。それには、コーチ陣の実力アップ。ということで、IPCから技術委員長のジョンエイモスを招聘し、IPCコーチコース初級を開催してもらった。健常者との違い、認識の転換、色々学ぶことが多く、今後もIPC直々のコーチ育成に力を注いでいきたい。

6/24 北九州市西小倉小学校訪問

北九州市で2018年アジア選手権を招聘し、お客さんを満杯にするには、パラ・パワーリフティングを知ってもらう事が一番。と、西小倉小学校を訪問した。

ジョンエイモスIPC技術委員長のパラ・パワーリフティング紹介、城選手のデモンストレーション、それに続いて、西小倉小学校6年生全員が、パラ・パワーリフティングを体験。講師は、吉田進理事長、城選手、アフリカの馬拉ウィから来たブライト（下の写真前列右端）、そして、私が、手分けして担当。

6/26の大会にも、この中から何人かの子供たちが親御さんを連れて見に来ていた。

ちなみに、馬拉ウィでは、まだ、パラ・パワーリフティングが全く普及しておらず、ブライトさんがパラ・パワー普及の全責任を負って、IPCコーチコースに参加。何年か後のパラリンピック選手育成を目指す、とのことだ。



6/25-28 タイランドパワーリフティングチームの招聘

一昨年に引き続き、タイの優秀コーチを招聘。今回は、試合時のコーチングを学んだ。

また、北九州市は、タイの国と「ホストタウン交流事業」を提携しておられるとのことで、九州国際大学ウェイトリフティング部との交流や、連盟理事長と共に北九州市長さんを訪問、日本のパワーリフティングの育成の支援と、北九州市の皆さんとの交流をはかられた。



6/26 2016年パラ・パワーリフティング ジャパンカップの開催



2018年、日本はどんな大会をするつもりか？その下見に来日されたIPC幹部の方々。大会では、北橋北九州市市長さんからご挨拶もいただいた。

IPC 幹部；左から、ジョンエイモス（技術委員長）
デレック（国際クラス分ドクター）、サム（IPC パワーリフティング職員）、ホルゲイ（IPC パーマネンジャー）、一人おいて、アジマ（国際クラス分ドクター）



大会は、IPC幹部が見守る中、厳しい判定で、開催された。だが、IPCからは、日本の判定は甘すぎる。日本の運営はみんなが一体化していて、それでは、IPCの大会は出来ない。と、苦言を頂いた。IPCの理想とする大会は、各審判、役員、選手、補助員が其々独立して自分の仕事を行い、決してお互いに関わり合わず、補助員が選手の応援をしたり、コーチの資格を持つものが、審判をしたり、進行役が選手の応援をしたり、などということ、ありえない、と、いう。「和気あいあい」と試合を運営することは、今後止めるように、どれだけ緊張を持って競技会を開催できるか、という視点で今後の運営を考えるように、と、厳しい指導を受けてしまった。



試合が終わると、リオ参加を決めている西崎選手と大堂選手に囲み取材が殺到。(写真上)

大堂選手は、検量時間に、ラジオのインタビューで実況中継。(写真右)

大会は東京パラリンピックが開催されるためか、一挙に新人15名が参加。選手の皆さんの今後の活躍を期待したい。



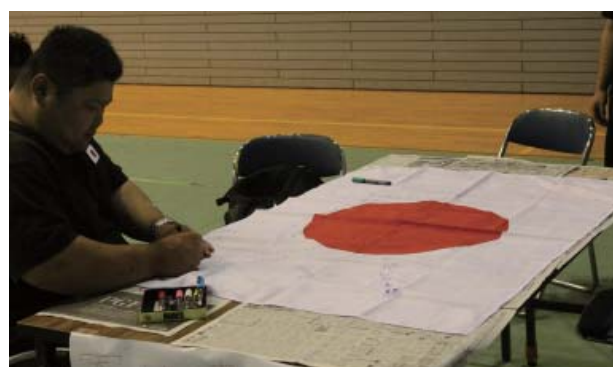
6/27 2018年IPCパワーリフティングアジア選手権会場視察



2018年IPCパワーリフティングアジア選手権の会場は、北九州芸術劇場、大ホールと決まっている。大ホールで競技ができるか、細かいサイズをはかり、確認する、IPC幹部。

東京パラリンピックも、東京フォーラムの劇場で試合が行われ、2018年のアジア大会は、IPCにとっては、劇場で試合をする、とてもよい、テストイベントとなると予想される。

写真下は、リオに行く選手への応援メッセージを会場の皆さんから頂いた。



取材、取材、取材——。



リオの選手団が正式に発表され、パワーリフティングの日本選手団は次の通りです。

監督 ；石田直章（愛知県、連盟理事、JPCコーチ）
コーチ ；岡本孝義（岡山県、JPC公認コーチ）

54kg級；西崎哲男（大阪府）

88kg級；大堂秀樹（愛知県）

取材が多く、選手の練習が大丈夫か少し心配ですが、この機会に、ぜひ、パラ・パワーリフティングが皆さんに周知されれば、と思います。

左は、フジテレビのPARADoという番組に出演の西崎選手です。その他、8/9（予定）20時、NHK、Eテレで、30分番組でパラ・パワーリフティングが紹介されます。（日程については予定で、何か有れば変更されることもあります。）

また、リオ期間中は、大堂選手の男子88kg級が実況中継される予定です。また、リオ期間中には、東京都営地下鉄の麻布十番駅で、パラ・パワーリフティングの競技が紹介されます。お近くの方は是非ご覧ください。



競技会名
2016パラ・パワーリフティング ジャパンカップ

日時	開催地	会場
2016/6/26	福岡県北九州市	小倉北体育館

Final Position	氏名	Family Name	Given Name	所属	Country	IPC ID Number	Class	M/F	Date Of Birth			Body Weight	Attempts				Best Lift
									Day	Month	Year		1st	2nd	3rd	4th	
女子の部																	
45kg級																	
1	小林 浩美	Kobayashi	Hiromi	個人	Japan	9324	45	F	12	3	1969	43.75	60	63	65		63
50kg級																	
一	中嶋 明子	Nakazima	Akiko	個人	Japan	31366	50	F	28	9	1975	45.25	40	40	45		-
55kg級																	
1	山本 恵理	Yamamoto	Eri	日本財団パラリンピックサポートセンター	Japan	31364	55	F	17	5	1983	54.3	37	37	40		40
61kg級																	
オープン	ハット	Hat	Motnok	タイランド	Thailand	9600	61	F	3	2	1977	56.7	65	70	70		70
73kg級																	
欠席	坂元 智香	Sakamoto	Chika	個人	Japan	X	73	F	8	3	1982	欠場					
男子49kg級																	
1	三浦 浩	Miura	Hiroshi	株式会社東京ビッグサイト	Japan	11334	49	M	14	10	1964	46.9	115	120	125		125
2	松本 崇	Matsumoto	Takashi	パワーハウス	Japan	9333	49	M	11	10	1969	46.6	82	87	90		90
男子54kg級																	
1	西崎 哲男	Nishizaki	Tetsuo	株式会社乃村工藝社	Japan	22214	54	M	26	4	1977	53.4	131	136	138		136
2	加藤 尊士	Kato	Takasi	個人	Japan	31369	54	M	8	6	1988	53.5	100	105	110		105
3	岡田 有史	Okada	Yuji	株式会社電通国際情報サービス	Japan	9332	54	M	16	7	1976	53.6	95	100	105		100
4	志賀 貴之	Shiga	Takayuki	個人	Japan	31370	54	M	17	2	1977	50.8	68	68	73		68
オープン	チョウチャット	Choochat	Sukjarern	タイランド	Thailand	9607	54	M	1	12	1975	54	135	140	145	151	145
男子59kg級																	
13	戸田 雄也	Toda	Yuya	個人	Japan	31342	59	M	17	4	1982	58.2	102	107	107		102
15	須田 勝	Suda	Masaru	個人	Japan	31353	59	M	11	7	1967	57.6	87	93	95		93
14	蛭名 敏正	Ebina	Toshimasa	パワーハウス	Japan	31372	59	M	1	6	1973	56.5	67	72	77		77
12	古田 康和	Furuta	Yasukazu	個人	Japan	31367	59	M	24	8	1975	55.1	55	62	70		62
男子59kg級ジュニア																	
1	奥山 一輝	Okuyama	Kazuki	順天堂大学	Japan	x	59/jr	M	24	3	1997	56.1	80	86	90	90	86
男子65kg級																	

1	城 隆志	Jo	Takashi	オムロン太陽株式会社	Japan	9325	65	M	27	1	1960	64.05	127	132	132		127
2	村井 都稚夫	Murai	Tuchio	個人	Japan	27640	65	M	24	4	1961	63.2	115	115	120		115
3	朽木 亮一	Kutsuki	Ryouichi	個人	Japan	31365	65	M	21	11	1995	61.1	65	70	77		77
男子72kg級																	
1	佐野 義貴	Sano	Yoshiki	アクテリオンファーマ シューティカルズ ジャパン 株式会社	Japan	9331	72	M	6	9	1968	70.2	137	142	147	149	147
2	假屋 隆広	Kariya	Takahiro	個人	Japan	31355	72	M	3	10	1985	71.3	110	110	117		110
3	鈴木 昭一	Suzuki	Syouichi	パワーハウス	Japan	31387	72	M	2	2	1975	68.25	100	105	110		105
4	塩谷 吉寛	Shioya	Yoshihiro	個人	Japan	31368	72	M	19	1	1989	71.2	95	100	105		105
5	野沢 哲也	Nozawa	Tetsuo	個人	Japan	x	72	M	1	5	1973	67.8	65	65	70		70
一	新垣 厚	Aragaki	Atsushi	個人	Japan	x	59	M	30	1	1983	55.7	50	50	50		-
男子80kg級																	
1	斉藤 伸弘	Saitoh	Nobuhiro	株式会社ワトム	Japan	20620	80	M	10	4	1967	79.6	140	145	148		148
男子88kg級																	
1	宇城 元	Ujiro	Hajime	順天堂大学	Japan	9328	88	M	28	1	1973	80.15	177	182	187		187
2	大堂 秀樹	Odo	Hideki	個人	Japan	9327	88	M	17	10	1974	83.75	170	175	180		180
オープン	パラシット	Prasit	Thongdee	タイランド	Thailand	9611	88	M	19	11	1981	87.9	170	176	181		176
男子97kg級																	
1	馬島 誠	Majima	Makoto	個人	Japan	31354	97	M	24	8	1971	94.55	135	141	146	146	141
男子107kg級																	
1	中辻 克仁	Nakatsuji	Katsuhito	個人	Japan	9330	107	M	23	11	1969	101	175	185	191	192	191
男子107kg以上級																	
1	竹田 将広	Takeda	Masahiro	個人	Japan	9329	107+	M	16	10	1971	115.9	120	120	120		120
男子107kg以上級ジュニア																	
1	松崎 泰治	Matsuzaki	Yasuharu	個人	Japan	30432	107/Jr	M	7	6	1999	109.7	115	120	120		115

主審 国際2級審判員 石田直章

署名 **Naotaka Ishida**

副審 IPC国内審判員 中ノ瀬啓作

署名 **Keisaku Nakanose**

陪審長

Jon Amos

署名

Jon Amos

副審

IPC国内審判 岡本孝義

署名

Takayoshi Okamoto

日本記録樹立者

- *女子55kg級、山本恵理、40kg
- *男子54kg級、西崎哲男、136kg
- *男子72kg級、佐野義貴、147kg
- *男子97kg級、馬島誠、141kg
- *男子107kg級、中辻克仁、192kg(第4試技)
- *ジュニア男子107kg以上級、松崎泰治、115kg

競技会ベストリフター(パラアスリートを除く)

- 女子;小林浩美
- 男子;中辻克仁

東京パラ第一関門通過者(2017年世界選手権標準記録突破者)

- 1 小林浩美 女子45kg級
- 2 三浦浩 男子49kg級
- 3 西崎哲男 男子54kg級
- 4 佐野義貴 男子72kg級
- 5 齊藤伸弘 男子80kg級
- 6 宇城元 男子88kg級
- 7 大堂秀樹 男子88kg級
- 8 中辻克仁 男子107kg級

以上8名

東京パラ惜しくも通過できなかった選手(10kg以内)

- 松本崇 男子49kg級(あと10kg)
- 加藤尊士 男子54kg級(あと5kg)
- 岡田有史 男子54kg級(あと10kg)
- 城隆志 男子65kg級(あと3kg)

次のIPC公認の大会は、全日本です。(12/3東京都世田谷区、日体大)

しっかり計画を立てて、世界標準突破を目指してください。

合宿のお知らせ;

基本的に合宿は、自由参加です。合宿では、練習はもちろん、トレーニングメニューの組み方、フォームの作り方、ストラップの利用方法、食事のとり方、疲労と回復、座学とトレーニングで、皆さん一緒に目標に向かっていきましょう。

合宿の詳細な日程等は、ホームページをご参照ください。